

NPO法人もりふれ倶楽部では、令和3年6月3日（木）雲南市立鍋山小学校生徒に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、1，2年生18名に「森の話と木切れ工作」3，4年生17名に「森の話と樹木観察」5，6年生16名に「川の学習」の指導を行いました。

| 1. 2年生 「森の話と木切れ工作」 | 3, 4年生 「森の話と樹木観察」 | 5, 6年生 「川の学習」 |
|---|--|---|
| <p>木切れ工作</p>  | <p>樹木観察</p>  | <p>川の学習</p>  |
| <p>森の話</p>  <p>間伐材で作られた木切れとホットボンドを使って、動物などそれぞれ思い思いの作品を作ってもらいました。茎切れ工作の後「もりでみつけよう」と題して森にどんな昆虫がいて、何をしているかななどの話をしました。</p> | <p>森の話</p>  <p>シートに葉を並べお題を提出。チームに分かれ、お題にあった葉を探してもらいました。その後葉を観察・記録、発表してもらいました。その後森に関するクイズを通して、森の現状について話をしました。</p> |  <p>川に生息している水生昆虫を採取、記録してもらい、川の環境や川に生息している昆虫の生態に興味を持ってもらう関りをしました。</p> |